

船越小が山田小に統合決定

船越小学校は、令和6年4月から山田小学校へ統合することが決定しました。町では、令和4年12月に船越小PTAから「令和6年度から山田小学校へ統合を希望する」との意向が表明されたことを受け、2回の地域説明会を開催し、地域からも一定の理解を得られたため、今回統合することを決定しました。ここでは、統合に至る経緯や説明会の内容などを紹介します。

町内小中学校が統合に至る経緯

これまで町では、町内小中学校の学校再編のため、平成29年に学校規模適正化検討委員会を開催し、望ましい教育環境などの話し合いを行ってきました。

平成30年には小中学校再編に向け、保護者・住民説明会を開催、最終的に小学校3校（豊間根、山田、船越）、中学校1校（山田）とする方針を決定し、令和2年度から統合校がスタートしました。その際、船越小学校は、「山田小学校の新校舎が建設されるタイミングで改めて検討したい」などの意見もあったことから統合を見送り、単独校での存続となりました。

PTAで議論重ね 統合への意向表明

船越小PTAは、令和6年度中に山田小学校が新校舎へ移転

する予定であることを受け、昨年4月から役員会を中心に統合に向けた議論を重ね、山田小学校の新校舎に関わる説明会を行い、新しい教育環境の情報共有したほか、意向確認のためのアンケート調査を行ってきました。昨年12月に行ったアンケート調査では、最終的な意見を集約し、半数以上が統合に賛成の意向を示したことから、同月、正式に町教育委員会へ「統合」の意向を表明しました。

説明会通じ地域の理解と協力求める

町では、船越小PTAからの意向表明を受けて、地域の皆さんに理解と協力を求めるため、今年3月に2回の地域説明会を行いました。説明会で出た意見は次のとおりです。

◎参加者からの意見

- ▼学校活動での役割を、少ない人数でやらなければならぬため、一人当たりの負担が大きい
- ▼友人関係を築くのにも小人数では厳しいと思う。クラス替えができることへの期待は大きい
- ▼子どもには、多くの選択肢を与えたい。少人数では選択肢が狭まってしまふ気がする▼小学校を無くすということは地域に



学校統合の地域説明会の様子

とつても大きいことなので、地域の人の意見も聞いて、納得した上で進めるべき▼将来、子ども数も増える見込みがないので、統合やおなし▼保護者が本当に統合したいというのであれば反対はしない▼地域に小学校を残すか残さないかということではなく、教育を受ける子どもを中心に考えてほしいので統合を進めるべき▼反対意見もあると思うが、保護者の意見を尊重してほしい。地域の人たちには理解していただき、バックアップをお願いしたい——など

◆◆◆◆◆
これらの意見を踏まえ、最終的には統合への理解を得られることができました。

町では、今後、船越小の保護者や地域住民に協力を求めながら統合に向けて準備を進めます。



山田小学校への統合が決定した船越小学校